

通知カード・個人番号カード用  
OCRソフトウェア

# DynaEye マイナンバーOCR

## 窓口における安全かつ効率的なマイナンバー取扱い業務を支援

「DynaEye マイナンバーOCR」は、通知カード・個人番号カードの認識処理を、業務システムやパッケージソフトウェアに組み込んで活用するための開発者向けソフトウェアです。イメージスキャナー\*1からスキャンした通知カード・個人番号カードの文字を認識し、業務システムやパッケージソフトウェアにマイナンバーの情報を直接取り込むことができるようになります。

### セキュアなシステム構築を実現

当社イメージスキャナー fi シリーズにてスキャンしたデータをすべてメモリ上で処理することができるので、PC上にマイナンバー、本人確認情報を含むファイルを作成することなく、安全なシステムを構築することができます。特定個人情報を扱う業務において情報漏えいリスクを低減できます。

### データ入力業務の効率化が可能

#### ① マイナンバーに特化した高精度な文字認識

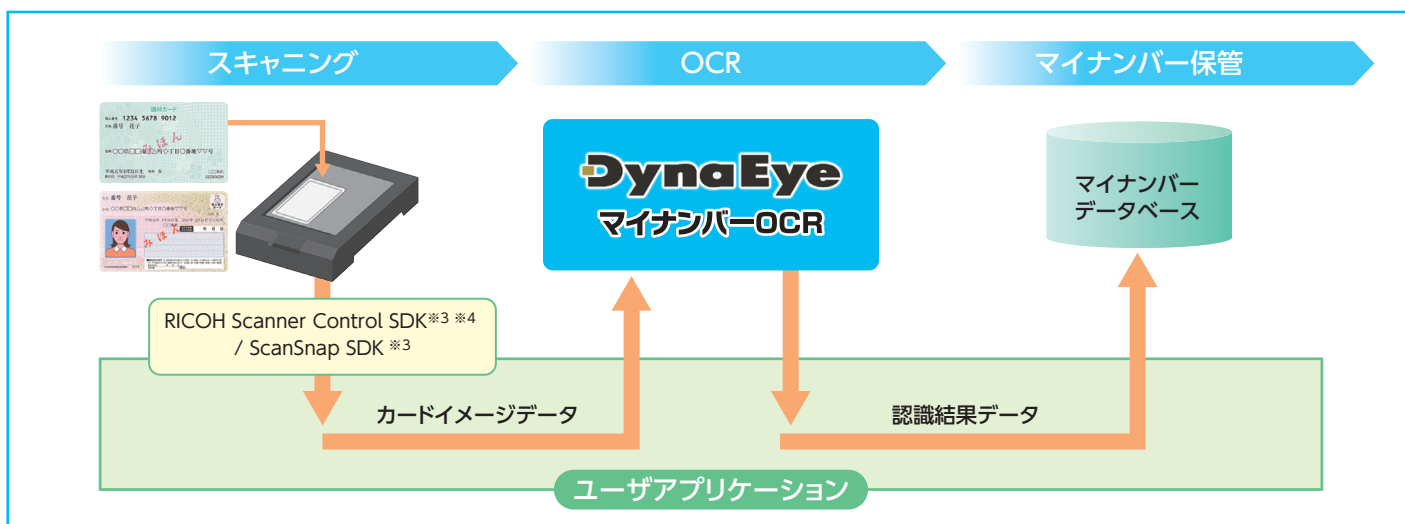
「DynaEye 11」、「DynaEye 運転免許証OCR」などで実績のある高精度な日本語活字認識エンジンを、「通知カード」および「個人番号カード」専用を開発しました。さらに住所辞書(約41万件)、氏名辞書(約21万件)を活用した知識処理により高精度な読み取りを実現します。

#### ② チェック機能による誤り防止

マイナンバーの読み取りではチェックデジット\*2によるエラーチェックを行います。

### 使用例

スキャナーからの読み込みは、「RICOH Scanner Control SDK」または「ScanSnap SDK」を使用し、データ入力に「DynaEye マイナンバーOCR」を使用します。カードデータをテキスト化し、マイナンバーデータベースに登録します。



\*1 本製品は、「fi-70F / fi-65F / fi-800R / ScanSnap iX100」に対応しています。

\*2 チェックデジットは総務省令第八十五号の「検査用数字を算出する算式」にもとづき、一定の計算に従って付加される数値を示します。

\*3 RICOH Scanner Control SDK、ScanSnap SDKはfiスキャナー、ScanSnapから簡単な呼び出しで画像の読み込みが行えるツールキットです。本製品は無償提供(Webダウンロード)となります。サポートを受けるには、契約(有償)が必要です。

\*4 RICOH Scanner Control SDKではスキャンデータをDIB(デバイスに依存しないビットマップ)としてメモリ上で取得することが可能です。

## 金融機関、企業でのマイナンバー情報取得



- 金融機関等における顧客からのマイナンバー収集業務
- 企業における従業員からのマイナンバー収集業務

## 本人確認業務の効率化、申し込み業務での入力支援



- 銀行等における申請業務 (口座開設、カード申し込み等)

## 商品構成

製品名	標準価格(税別)
DynaEye マイナンバーOCR ランタイムライセンス V1.0 ※5 ※6	52,000円
DynaEye マイナンバーOCR ランタイムライセンス サポートパッケージ ※6 ※7	7,800円
DynaEye マイナンバーOCR SDK V1.0 ※8	450,000円
DynaEye マイナンバーOCR SDK サポートパッケージ ※7	67,500円

※5 SDKを使用したアプリケーションを他のPCで運用するためにランタイムライセンスが必要となります。1年間のサポートサービスが含まれています。

※6 複数ライセンス向け商品もご提供いたします。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

※7 2年目以降のサポートサービスです。

※8 開発用に必要となります。1年間のサポートサービスが含まれています。

## 仕様

項目	内容
対象カード	通知カード表面、個人番号カード表面/裏面 ※9
入力画像形式	DIB形式 (24ビットフルカラー、300dpi) BMPファイル、JPEGファイル (24ビットフルカラー、300dpi)
出力項目	通知カード(表面) : 個人番号、氏名、住所、生年月日、性別 個人番号カード(表面) : 氏名、住所、生年月日、性別、有効期限、セキュリティコード 個人番号カード(裏面) : 個人番号、氏名、生年月日
対応スキャナ	fi-70F、fi-65F、fi-800R、ScanSnap iX100※10

※9 個人番号カードをスキャンする際は、ケースから取り出してください。

※10 ScanSnap iX100 では、スキャンしたデータはファイルとして出力されます。

## 動作環境

項目	内容
対応OS※11	Windows® 11 日本語版 64ビット、Windows® 10 日本語版 32ビット/64ビット
メモリ容量※12	32ビットOS:1GB 以上、64ビットOS:2GB 以上
ディスク容量	本SDKの実行モジュール用に200MB以上の空き容量が必要
開発環境	Visual Basic® 2013、Visual Basic® 2015、Visual C++® 2013、Visual C++® 2015、Visual C#® 2013、Visual C#® 2015

※11 本製品は、32ビットアプリケーション用ライブラリです。64ビットOS上でも利用可能ですが、64ビットアプリケーションは開発できません。

※12 Windows® 11は、メモリ4GB以上が必要です。

## 一般帳票向けOCR製品について

一般帳票向けの高精度なOCR製品もご用意しております。

## DynaEye 11

お問い合わせ先

詳しくは弊社ホームページをご覧ください ▶ <https://www.pfu.ricoh.com/dynaeye/product/dynaeye11/>

## 運転免許証に特化したOCR製品について

運転免許証に特化した高精度なOCR製品もご用意しております。

## DynaEye 運転免許証OCR

お問い合わせ先

詳しくは弊社ホームページをご覧ください ▶ <https://www.pfu.ricoh.com/dynaeye/product/dlocr/>

・本製品の認識機能は、誤読 (誤った認識をする) や、リジェクト (適切な認識結果を確定できない) が発生する場合があります。OCR の認識結果は、カードの状態 (汚れや印字状態の劣化) やスキャナーの設定などに左右されるため、常に正しく行われるとは限りません。OCR の認識結果については確認と修正が必要です。

・本製品は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、その他関連法令・ガイドラインの範囲内でご利用ください。

・DynaEye、ScanSnapは、株式会社PFUの日本国内における登録商標です。

・Microsoft、Windows、Visual Basic、Visual C++、Visual C#は、米国Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

・その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

## 株式会社 PFU

■横浜本社

〒220-8567 横浜市西区みなとみらい4-4-5 横浜アイマークプレイス ☎(045)305-6000

■北海道オフィス ☎(011)242-2212

■東海オフィス ☎(052)202-0871

■東北オフィス ☎(050)3786-2204

■関西オフィス ☎(06)6152-8153

■北陸オフィス ☎(050)3819-9160

■九州オフィス ☎(050)3819-9180

<https://www.pfu.ricoh.com/dynaeye/product/mnocr/>

※仕様は改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

2023年4月 B-109 ADV10K3